

北海道警察からのお願い

冬山で遭難しないために次の点に注意しましょう。

○ 無理のない計画と『登山計画書』の提出を

登山技術、体力、経験に応じた山を選ぶとともに、無理のない計画を立て、登山計画書は家族や職場のほか、最寄りの警察署又は交番、駐在所に提出しましょう。北海道警察のホームページからメールで登山計画書を提出することもできます。

○ パーティーでの登山を

単独登山は行動中のアクシデントに対応できないことがあります。特に冬山はリスクが高いためから単独での登山を避け、経験豊富なリーダーのもとで、パーティーを組んでの登山に努めましょう。

○ 万全の装備と余裕のある食料などの準備を

装備の不備や食糧の不足が生死につながることもあります。ビーコンやプローブ、ショベルなどの雪崩対策装備のほか、悪天候の条件下にも耐えられる防寒装備や非常時の宿泊装備、ヘッドライト、予備の食料などを準備しましょう。

○ 通信機器の携行を

万一の場合の連絡手段として、携帯電話などを携行するとともに、予備のバッテリーを携行しましょう。

○ GPSの携行を

冬山遭難の約半数が道迷い遭難です。冬山は、登山道が雪に覆われ、降雪等により視界不良になることから、ハンディGPSを携行し、こまめに現在地を確認しましょう。

○ 入山前に気象状況の確認を

入山前には、必ず気象状況を確認するとともに、冬山は天候が急変しやすいので絶えず気象の変化に気を配り、天候の悪化が予想されるときには中止しましょう。

○ 立入規制・遵守事項の遵守を

スキー場の管理区域外におけるバックカントリースキーは、道迷い、雪崩、立木への衝突等、生命にかかわる事故の危険性が高まります。立入規制の有無や滑走箇所における遵守事項を遵守するとともに、慎重な行動に心掛けましょう。



北海道警察